

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

令和6年11月号 No.210

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

国有林作業現場等現地見学会を開催

去る、2024年9月20日(金)に、中部森林管理局名古屋事務所の協力を得て国有林作業現場等現地見学会を開催しました。木材産業は、木材の生産・流通・加工、住宅建築、木製品の製造・販売、木質バイオマス利用など裾野の広い産業であります。木材利用の一層の促進と持続可能な森林管理の観点から、森林・林業の実情や取組みについて理解を深めることが大切です。このため名古屋木材組合では組合員の方々を対象とした現地見学会を2013年度から実施しています。

当日は快晴に恵まれ現場日和となり、日中は少し汗ばむ陽気となりました。最初に訪問したのは木曾森林管理署南木曾支署の南蘭(みなみあらぎ)国有林内の素材生産現場です。中津川から馬籠の宿を経て南木曾町に入っすぐの所に現場はあります。ここでは保育間伐が今年の5月から来年の3月まで行われ、事業を請け負った(有)今井木材から

- ①作業は1班5名
- ②ダブルエンドレス式で架線集材
- ③架線は230mから長い箇所では1000mスパンで16本のラインを計画
- ④伐採した木を架線で吊り上げ森林作業道まで運ぶ
- ⑤高性能林業機械で枝落としや玉切りをしたあと極積
- ⑥素材は最大1.5tの吊り上げが可能。1日約30回、80本程度が生産され、集材した丸太は市場や工場へトラックで運ぶ

と説明がありました。

参加者からは「実際に現場が見ることが出来て、より理解が深まった」、「架線集材は思っていたより大規模で興味深かった」、「普段何気なく目にしている木材が、これほどの手間と技術を費やされて出来ていることを実感しました」などの感想がありました。なお、国有林では樹齢80年以上が人工林の木曾ヒノキ、樹齢200年以上が天然木曾ヒノキとして出荷されています。



(株)勝野木材 概要説明

午後からは(株)勝野木材の製材工場を見学しました。この会社は全国に知られる木曾ヒノキの建築用材や神社仏閣用材などの生産販売を行っています。畑中製材部長から概要説明を受けた後、工場内を見学しました。同社では年間2万㎡の素材生産と柱を主体に1万5千㎡の製品を生産しています。工程は皮むきから製材まで自動化され、蒸気式乾燥機で木材乾燥したあと丸鋸四面修正挽き加工仕上げで高精度の加工を行っ

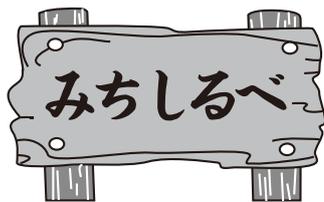
ています。丸鋸四面修正挽き加工をする際でも丸太に圧力かけずに挽いたり、角材を乾燥機にかける前に狂いや割れを防ぐため予備散水を行うなど、製材加工工程の各所にこだわりが感じられました。

工場見学の後、隣接しているモデルハウスでは伝統的な和風建築を見学しました。築25年のモデルハウスでしたが、室内はバランスよく木材が使用され純和風の落ち着いた雰囲気でした。このほか同社では木のフル活用を目指し、皮やチップから木質ボードを製造したり、端材から抽出したヒノキチオールを化粧品に生かすなど、新たな製品開発にも取り組んでいます。参加者からは「自分たちが取り扱っている材木がどのように作られているかが見ることができて良い経験だった」、「木曾ヒノキを製品にする努力に感銘を受けました。説明からご担当者の熱い思いが伝わってきました」などの感想が出され、有意義な現地見学会となりました。



南蘭国有林 架線集材とプロセッサ

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを



キーエンス 最小の資本と人で最大の付加価値をあげる

名古屋港木材産業協同組合
理事長 服部 伸一

株式会社キーエンスは大阪市東淀川区に本社を置くセンサーや測定器、画像処理機器のメーカーです。創業者の滝崎武光氏は兵庫県立尼崎工業高校を卒業後、最初に起業した会社が倒産、2回目の起業も失敗し、3回目のチャレンジとして1974年、キーエンスの前身であるリード電気という会社を設立し、トヨタ自動車や日産自動車への提案が採用されたことを契機に大きく飛躍し、現在のキーエンスに社名変更しました。

下記はキーエンスのホームページから抜粋した数字です。

- ・売上高 9,672億円 (24年3月期)
- ・時価総額 17兆2800億円 (2024年9月27日現在)
- ・成長率 25年間連続10%超
- ・営業拠点 世界46か国 250拠点
- ・営業利益率 51% (2024年3月期)
- ・従業員1人当たりの営業利益 4,700万円 (23年IRデータより)

キーエンスはファブレス（工場を持たない経営）を徹底し、研究開発や提案営業に経営資源を集中させています。

一方で同社は営業社員の活動をガラス張りにして厳しく細かく管理をしています。従業員の行動は全て数字で管理されています。電話は1日30～80件、アポは1日5～10件、訪問先でのデモの回数等を報告させるだけでなく、その行動に虚偽がないか、GPS、携帯基地局記録、高速道路の通過時間等でチェックされます。「従業員を信頼していない」と批判されますが、このようなモーレツな社内風土下において圧倒的な業績を上げていることは間違いありません。

キーエンスの無駄を許さない「最小の資本と人で最大の付加価値を生む」という考え方は、経営の理想形であり「ニーズを探し出し、需要を掘り起こす営業」は新設住宅着工件数という事業環境要因に依存している我々にとっても見習うべきことです。

これからの時代は低賃金で人を雇って利益を出す経営は成り立ちません。賃金や福利厚生原資である「1人当たりの営業利益」の格差が業界間や企業間で拡大している現実について自覚が必要と私は感じています。

◆ 合縁木縁 ◆

「再チャレンジ」

まだまだ若手と思っていた自分も50歳を過ぎ、今まで様々なことを経験してきたつもりでしたが、東日本大震災やコロナウイルスによるパンデミック等、小説や映画の中だけのもので、自分が生きている間には絶対に経験しないと思っていた事が次々に起こりました。木材業界においては100年に1度のウッドショックを経験し、その後の相場変動やグローバル経済の変化が続き、全く予測がたたない世の中で今までの経験や習慣が邪魔をしているのか、変化に対応できずに日々の業務で右往左往しており、八方塞がりと思える状況の中で、何かにチャレンジしようと行動ができない自分がいます。

私は若いころに富士山に登ったことがあります。登山をする人の間では富士山に1度も登らぬバカ、2度登るバカという言葉がありますが、私は3度頂上まで登ったことがあります。あれから30年、50歳を過ぎて再び登ってみたいと思っていますが、今年7月の山開きからたった1カ月で6人の方が亡くなっており、いずれも男性で年齢は私と同じ50代から70代の方とのこと、何でも情報が手に入るこの時代でまた登ってみたいと思いつつ、調べれば調べるほど危険な情報が目に入っては逡巡するばかりです。

昔登った時代には何の情報もなく、夜から登り始めてご来光を見するという危険な弾丸登山をしておりました。スニーカーにジャンパーの軽装で、たまたま天候が悪化しなかったのは幸運でしたが、ついに3度目の登山において山頂で捻挫してしまい、激痛の中で片足を引きずりながら下山せざるを得ず、とても悔しい思いをしました。弾丸登山は良くないことでしたが、若いころは何も考えずにやりたいと思ったことを思った時にチャレンジできました。

ところが今では仕事や家族のこと、自分の体力のことなどに自分で勝手に限界を作り、頭の中で考えているばかりで何も行動をできない毎日です。しかし来年こそは富士登山に再チャレンジして4度目の大バカとなり、木材業界においても時代の変化を恐れず、考える前に行動できるよう、まずは一歩踏み出していきます。

今回は、江口木材株式会社 江口 祐司氏にお願いします。

◆ 自遊ご異見番 ◆

「スーパーで感じる、秋の贅沢なひととき」

秋が深まるこの季節、ふとした瞬間に「秋って、なぜこんなに心が落ち着くのだろう」と感じることもあります。夏の暑さが引いて、空気が澄んでくると、外を歩くだけで自然の変化に気づかされます。特にスーパーに行くと、その季節感が一層際立ちますよね。最近、店頭に並び始めた秋の味覚、例えばさつまいもやかぼちゃ、そして新米を見ると、ああ秋なのだなと実感します。

先日、ふとスーパーで立ち寄った果物コーナーに、見慣れた「柿」が山積みになっていました。柿って、子供の頃には地味な果物だと思っていたのですが、大人になるとその美味しさに気づくようになりました。特に、少し熟した柿の甘さは絶品で、一口食べると秋の訪れを舌で感じられるのです。そして、スーパーの中でも季節が動いていることに気づかされます。今まで何気なく通り過ぎていた食材たちが、季節の変化とともに輝いて見える瞬間です。

また、秋は「煮込み料理」が恋しくなる季節でもあります。寒くなってくると、家でコトコト煮込んだシチューやおでんの香りが恋しくなりません。先日、スーパーで偶然目にした圧力鍋が特売されていたので、思い切って購入しました。家に帰って、さっそく秋の野菜をたっぷり使ったポトフを作ってみました。野菜がほろほろに柔らかくなり、じっくりと旨みが染み渡ったスープが最高でした。スーパーで季節の野菜を選び、その味わいを家で楽しむ時間は、まさに秋の贅沢です。

さらに、秋は「食欲の秋」とよく言われるように、美味しいものが豊富にある季節でもあります。スーパーで栗ご飯用の栗や、新鮮なきのこ類が並ぶのを見ると、いつもの食事に少し秋の風味を加えてみたくなります。お鍋にきのこをたっぷり入れたり、デザートに栗を使ったお菓子を手作りしたり、季節感を取り入れた食卓が広がっていくのも、この季節ならではの楽しみですね。

日常の中で感じる季節の移ろい、特にスーパーという身近な場所で見つける秋の風景は、思いのほか心にしみるものです。これからも、買い物をしながら季節の小さな発見を楽しんでいきたいものです。

お知らせ 令和6年度秋季一斉清掃のご案内

西部地区において木場金岡、飛島ふ頭、弥富ふ頭それぞれ秋季一斉清掃を実施いたします。臨港地区の環境美化にご協力くださいますようお願いいたします。

- 飛島地区 日 時 令和6年11月22日(金) 9:30集合 (9:45~10:45に清掃実施)
集合場所 飛島ふ頭西部第2貯木場東側南部
木場金岡地区 日 時 令和6年11月26日(火) 9:30集合 (9:45~10:45に清掃実施)
集合場所 木場金岡ふ頭西部第4貯木場東側
弥富地区 日 時 令和6年11月28日(木) 9:30集合 (9:45~10:45に清掃実施)
集合場所 弥富ふ頭西部第6貯木場南側

(土砂回収) 例年通り、道路側溝の土砂回収を以下のスケジュールにて行います。

- 土のう袋の配布: 令和6年11月8日(金) 13:30~15:30 飛島村公民館分館ロビー
集積・回収: 令和6年11月29日(金)までに各企業の前にまとめてください。
: 令和6年12月16日(月)~19日(木)に回収します。

※各事業者の敷地内の土砂については、回収できませんのでご注意ください。詳細は名古屋港木材産業協同組合ホームページにてご確認ください。

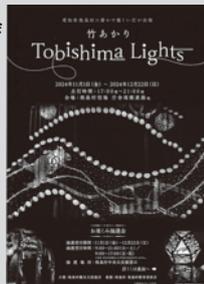
竹あかり ~ Tobishima Lights ~ 愛知県飛島村に静かで優しい灯が出現

点灯時期/2024年11月1日(金)~2024年12月22日(日)
点灯時間/17:00~21:00頃 会場/飛島村役場 庁舎南側通路他



期間中、竹あかり等の写真を撮影し、instagramで『#トビシマライト』と『#飛島村』をつけて投稿。ステキな写真を投稿してくださった方10名様に、村の特産品をプレゼント!

#トビシマライト ハッシュタグ キャンペーン



☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

電話しながらATMを操作する人に声かけを!

特殊詐欺被害者の多くは、犯人に電話で指示されながらATMを操作してお金を振り込んでいます。

今までも第三者からの声かけにより被害を未然に防ぐことができたケースが多数あります。

銀行やコンビニ等のATMを話しながら操作する人を見かけたら、声かけをお願いします。

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

◆ 広告コーナー

Advertisement for INOUE Technology for Clean Air & Bulk Handling. Features a large industrial machine and text: '集塵装置の省電力・安全 木質バイオマスの利活用' and 'ご提案します!!'.

Advertisement for CHUYODA CIRCULAR BOARD. Features a circular graphic and text: '世界初! 100%リサイクルせっこうボード' and 'CHUYODA CIRCULAR BOARD'.

発行 名古屋木材組合
発行 西垣洋一
〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
TEL <052> 331-9386
FAX <052> 322-3376
【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
発行 服部伸一
〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74
TEL <0567> 57-2017
FAX <0567> 57-2018
【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会